

齋藤茂吉 歌人。医師の仕事を買徹しつつ、{アララギ}の支柱として傑作を創り続け、後世に莫大な影響を及ぼした。

さいとうもきち

新体詩抄・1882 = 山形県南村山郡の農家の三男に生れる。

帝国憲法発布1889 = 7歳 :

足尾鉞毒始・1891 = 9歳 :

日清戦争始・1894 = 12歳 :

白馬会・・・1896 = 14歳 : 上山尋常小学校高等科を首席で卒業。親戚の医師齋藤紀一に招かれて上京。開成中学に編入。

子規句歌革新1898 = 16歳 : 「古今集」を読み、初めて短歌をつくる。

ビヲ国産化・1900 = 18歳 :

田中正造直訴1901 = 19歳 : 開成中学を卒業。一高第三部を受験するが、不合格。

教科書疑獄・1902 = 20歳 : 一高第三部に合格し、入学。

日露戦争始・1904 = 22歳 : 正岡子規遺稿「竹の里歌」を手にして決定的影響を受け、これを契機に作歌を志し、
日露戦争終・1905 = 23歳 : 一高を卒業。齋藤てる子の婿養子となる。東京大学医科大学に入学。読売新聞に投稿して掲載される。
満鉄発足・1906 = 24歳 : 伊藤左千夫の門に入り{馬酔木}に歌を発表。

アララギ 創刊・1908 = 26歳 : {アララギ}の創刊に参加。

伊藤博文暗殺1909 = 27歳 : 森鷗外宅の観潮楼歌会に出席し、北原白秋、木下杢太郎らの影響を受ける。

韓国併合・・・1910 = 28歳 : 東京大学医科大学を卒業。

大逆事件判決1911 = 29歳 : 巣鴨病院に勤務、呉秀三の下で精神病学を修めた。{アララギ}の編集発行の実務を担当。

明治天皇没・1912 = 30歳 :

大正政変・・・1913 = 31歳 : 生母が死去。*第一歌集「赤光」1(以下歌集番号)を出版、強烈な生命感をうち出して一躍注目をあびた。

第一次大戦始1914 = 32歳 : 齋藤てる子と結婚。

民本主義・・・1916 = 34歳 : 長男誕生。「短歌私鈔」を刊行。この頃、盛んに論争する。

ロシア革命・1917 = 35歳 : 長崎医学専門学校教授として赴任。この地で写生説「実相に観入して自然・自己一元の生を写す」を樹立(作歌するも殆ど発表せず)。

本格政党内閣1918 = 36歳 :

大暴落・・・1920 = 38歳 : 咯血して療養。

原敬首相暗殺1921 = 39歳 : *歌集「あらたま」2を刊行し、写生説を確立。ヨーロッパに留学。医学研究を行い、

関東大震災・1923 = 41歳 : 実父が死去。関東大震災で、養父の経営する青山脳病院が大損害。帰国を促されるが滞在を続け、

護憲三派圧勝1924 = 42歳 : 医学博士の学位を得て帰国の途次、青山脳病院全焼の悲報に接した(蔵書も焼失)。

治安維持法・1925 = 43歳 : 病院再興に努める間、再び{アララギ}の編集発行人となり、特異の体臭をにじませた滞欧随筆や「念珠集」所収の諸文を発表、評論・歌作活動をも活発に行う。

金融恐慌・・・1927 = 45歳 : 養父紀一のあとをうけて青山脳病院長に就任、この間、歌集「ともしび」の気迫のある作品。次男誕生。

共産党事件・1928 = 46歳 : 養父紀一が死去。

世界恐慌・・・1929 = 47歳 : 「短歌写生の説」を刊行。この前後も盛んに論争。

海軍軍縮条約1930 = 48歳 : 「念珠集」,

満州事変・・・1931 = 49歳 :

国際連盟脱退1933 = 51歳 : 私生活上の事件で妻と別居。「柿本人麿の研究」に力を注ぎ、以後、毎年論を発表。

二二六事件・1936 = 54歳 : *永井ふさ子との恋愛に苦悩。これらの時期をうたった歌集「白桃」「暁紅」「寒雲」は悲痛な詠嘆、歌境の深化をもたらす。

日中戦争始・1937 = 55歳 : 帝国芸術院会員となる。

健保+総動員 1938 = 56歳 : 「万葉秀歌」を刊行。「柿本人麿」により透谷賞。

大政翼賛会・1940 = 58歳 : 「柿本人麿」全5巻が完成、帝国学士院賞。「暁紅」11「寒雲」12を刊行。

日米開戦・・・1941 = 59歳 :

・・・1942 = 60歳 : 「白桃」10刊行。

創価学会検挙1943 = 61歳 : 「のぼり路」13刊行。

敗戦・・・1945 = 63歳 : 郷里金瓶に疎開、敗戦の現実(青山の病院、家とともに蔵書も全て焼失)に深い打撃を受ける。

新憲法公布・1946 = 64歳 : 大石田に移居、肋膜炎で重体となった。「つゆじも」3刊行。

新憲法施行・1947 = 65歳 : 歌会始めの選者となる(5年間)。「短歌一家言」「作歌実語鈔」「万葉の歌境」刊行。「遠遊」4刊行。

極東裁判決・1948 = 66歳 : 「遍歴」5刊行。

三大事件・・・1949 = 67歳 : 大石田在住時の歌を収める「白き山」16は写生の大自然に達したものである。「小園」15刊行。

朝鮮戦争始・1950 = 68歳 : 「ともしび」6「たかはら」7「連山」8刊行。

独立回復・・・1951 = 69歳 : 「石泉」9「霧」14刊行。文化勲章を受章。

メデー事件・1952 = 70歳 : 「齋藤茂吉全集」刊行開始。

TV放送始・・・1953 = 71歳 : 心臓喘息のため_没した。「つきかげ」17刊行。

17冊の歌集、多数の歌論・研究・随筆書を残した。医師で評論家の茂木は長男、作家の北杜夫は次男。